

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：秩父地域環境問題連絡協議会

代表者：代表 高野和之

URL :

1. 活動が必要とされた状況

第16回彩の国埼玉環境大賞表彰式が去る3月20日、さいたま市の知事公館で行われ、18点のうちの4点が秩父地域から受賞するという喜ばしい結果となりました。

これまでも、秩父地域から年数点の受賞はあったものの、秩父地域の環境保全意識の高さと広さ、その継続性が示された形となりました。そこで、いつしかこれを一時の荣誉と考えず、次代につなげる報告会を実施をしようと、話が繋がっていきました。

この企画の実施に、秩父地域の環境保全団体の多くが加盟する「秩父地域環境問題連絡協議会」が適切であるということになり、「彩の国埼玉環境大賞受賞記念報告会」を開催することとなりました。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施期日 平成27年6月28日(日)

午後1時30分～3時30分

参加人数 48名（秩父市歴史文化伝承館研修室）

活動内容 主催者である代表、来賓あいさつの後、受賞した4団体の報告を行いました。

- (1) 小鹿野高等学校ボランティア部
- (2) 秩父子どもエコクラブ
- (3) 水源の里を豊かにする会
- (4) 秩父の環境を考える会・内藤定芳



小鹿野高等学校ボランティア部の発表

まとめとして、「サイサン環境保全基金」の中畝事務局長から情報提供があり、矢尾直秀秩父市環境市民会議会長の閉会の言葉で締めくくりました。

3. 活動の成果

- ・ 1団体 20分という短い時間ではあったが、発表者の工夫で、熱気を伝えることができた。
- ・ 4つの発表団体が存在するために事前の打ち合わせが複数回必要だった。チラシ、ポスター作り、資料の印刷など多忙であったが、得ることが多かった。
- ・ 環境団体の他一般の方に多く参加していただいたことで、賑やかな実施ができた。

4. 今後に残された課題

秩父地域には多くの環境団体が存在し、様々な分野で日々活動して実績を上げています。しかし、その活動実態と情報の共有が互いに十分であるとはいえません。今回の報告会が、連携を深めるための有効な機会となったことは間違いありません。

今回の発表には小学生や高校生の活動も含まれています。さらなる若年層の啓発や教育機会の確保が今後の大きな課題です。ご支援いただいた関係各位に感謝申し上げます。